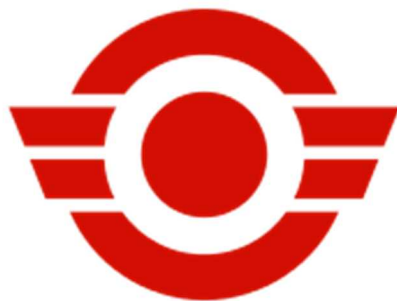


日出町教育委員会
点検・評価報告書
(令和2年度実施事業対象)



令和3年12月
日出町教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第二十六条の規定に基づき、令和2年度の教育委員会の点検及び評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を付して報告します。

— 目 次 —

I	点検・評価制度の概要	
1	点検・評価の趣旨	1
2	点検・評価の対象及び対象期間	1
3	点検・評価の方法	1
II	教育委員会の会議等の状況	
1	教育委員会の構成員	2
2	教育委員会開催状況	2
3	教育委員会審議状況	2
4	教育委員会会議以外の活動状況	2
5	令和2年度 教育委員会会議開催実績	4
6	令和2年度 教育長・教育委員活動実績	7
III	施策の点検・評価	
1	点検・評価の項目	1 0
2	点検・評価シートの記載方法	1 1
3	点検・評価のシート	
	(1) 人権を尊重する社会づくり	
	①人権教育・啓発の推進	1 2
	(2) 幼稚園教育の充実	
	①教育内容の充実	1 3
	②教職員の資質向上	1 4
	③施設・設備の充実	1 5
	④家庭・地域との連携	1 6
	⑤小学校との連携	1 7
	⑥預かり保育の充実	1 8
	(3) 義務教育の充実	
	①確かな学力の育成	1 9
	②豊かな心の育成	2 0
	③健やかな体の育成	2 1
	④特別支援教育の充実	2 2
	⑤地域・家庭・学校との連携	2 3

⑥学校給食の充実	24
⑦施設・設備の充実	25
(4) 社会教育の振興	
①世代に応じた学習機会の提供	26
②子どもの健全育成	27
③公民館活動を通じた人・地域づくり	28
④図書館活動・サービスの充実	29
⑤子ども読書活動の充実	30
(5) 歴史・文化的資源の保存・活用	
①歴史・文化的資源の調査・研究	31
②歴史・文化的資源の保存・活用	32
③歴史・文化的資源の愛護・啓発	33
(6) 芸術・文化・スポーツの振興	
①自主的で創造性豊かな芸術文化の振興	34
②芸術・文化の創造と鑑賞機会の充実	35
③ライフステージ（世代）に応じたスポーツの推進	36
④競技スポーツの推進	37
(7) グローバル人材の育成	
①グローバル人材の育成	38

IV 点検・評価第三者委員会の意見

1 点検・評価第三者委員会委員の構成	39
2 点検・評価第三者委員会会議の状況	39
3 令和2年度事業 点検・評価第三者委員会	
委員の意見（総評）	
(1) 全体意見	40
(2) 各基本目標意見	45

I 点検・評価制度の概要

1 点検・評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号。以下「法」という。)の一部改正(平成19年6月公布)に伴い、各教育委員会において、法の規定に基づき、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出することが義務付けられました。

本町教育委員会では、「第2期日出町教育振興計画」の取組状況を基に、学識経験者の知見を活用し、法第26条の規定に基づく点検・評価を行い、ここに報告書をまとめました。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の対象及び対象期間

(1) 対象

教育委員会の活動状況及び平成30年3月に策定した第2期日出町教育振興計画に掲げる具体的施策

(2) 対象期間

令和2年4月～令和3年4月

3 点検・評価の方法

(1) 「第2期日出町教育振興計画」の各施策について、教育委員会が点検・評価を行う。

(2) 点検・評価を行うに当たり、客観性及び透明性を高めるため、教育に関し学識

経験を有する者の知見を活用し、報告書を作成する。

(3) 報告書は、日出町議会に提出するとともに、ホームページ等に公開する。

II 教育委員会の会議等の状況

1 教育委員会の構成員（令和2年3月末現在）

教育委員会は、地域の実情に応じた教育行政を行うことを目的として設置された行政委員会で、教育長と4人の委員から成る合議制の執行機関です。

職 名	氏 名	任 期
教 育 長	堀 仁一郎	令和 1 年 1 0 月 2 0 日～令和 4 年 1 0 月 1 9 日
教育長職務代理者	菅 英一	令和 2 年 1 0 月 1 4 日～令和 4 年 9 月 3 0 日
教 育 委 員	佐藤 公康	令和 2 年 3 月 2 6 日～令和 6 年 3 月 2 5 日
教 育 委 員	阿部 雅子	令和 1 年 6 月 2 5 日～令和 5 年 6 月 2 4 日
教 育 委 員	二宮 誠一郎	令和 3 年 2 月 6 日～令和 7 年 2 月 5 日

2 教育委員会開催状況（詳細は令和2年度教育委員会会議開催実績）

教育委員会の会議は、毎月行っている「定例教育委員会」と必要に応じてそれとは別に行っている「臨時教育委員会」がある。

令和2年度のそれぞれの開催状況については、令和3年3月末現在、定例教育委員会12回、臨時教育委員会2回となっている。

3 教育委員会審議状況（詳細は令和2年度教育委員会会議開催実績）

法第25条の規程に基づき、令和2年度は55件の議案について審議した。また、審議案件の他に46件の報告及びその他協議を行った。

4 教育委員会会議以外の活動状況（詳細は令和2年度教育委員活動実績参照）

教育委員は、教育委員会会議以外にも各種行事への参加、学校訪問、他団体との会議等様々な活動を行っている。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（事務の委任等）

第二十五条 教育委員会は、教育委員会規則で定めるところにより、その権限に属する事務の一部を教育長に委任し、又は教育長をして臨時に代理させることができる。

2 前項の規定にかかわらず、次に掲げる事務は、教育長に委任することができない。

一 教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関すること。

二 教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること。

三 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること。

四 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること。

五 次条の規定による点検及び評価に関すること。

六 第二十七条及び第二十九条に規定する意見の申出に関すること。

3 教育長は、教育委員会規則で定めるところにより、第一項の規定により委任された事務又は臨時に代理した事務の管理及び執行の状況を教育委員会に報告しなければならない。

4 教育長は、第一項の規定により委任された事務その他その権限に属する事務の一部を事務局の職員若しくは教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員（以下この項及び次条第一項において「事務局職員等」という。）に委任し、又は事務局職員等をして臨時に代理させることができる。

5 令和2年度教育委員会会議開催実績

会議開催日	種 類	議事・報告内容		結 果
令和2年4月2日(木)	臨時会	議案	各種主任の承認について 区域外就学の承認について 職員の処分について	承認 承認 承認
		報告	町立図書館の開館について	
令和2年4月23日(木)	第4回定例会	議案	指定校の変更について 日出町教育委員会職員在宅勤務制度実施要領について	承認 承認
		報告	令和2年度教育委員会の事務分掌について 致道館の境界事件について 新型コロナウイルス感染拡大防止に係る対応について 5/1 新型コロナウイルス感染拡大防止に係る対応について 5/7 新型コロナウイルス感染拡大防止に係る対応について 5/15	
		その他	教育委員会事務の管理及び執行状況の自己評価について	
令和2年5月26日(火)	第5回定例会	議案	指定校変更の申立てについて 区域外就学について 各種委員会委員等の報酬及び費用弁償条例の一部改正について 日出町社会教育委員条例の一部改正について 新型コロナウイルス感染症予防対策に係る補正予算について	承認 承認 承認 承認 承認
		報告	新型コロナウイルス感染拡大防止に係る対応について 5/26 令和2年度教科用図書採択協議会について 校内研究会の日程について 新型コロナウイルス感染拡大防止に係る対応について 6/4	
令和2年6月25日(木)	第6回定例会	議案	指定校変更の申立てについて 工事請負契約の締結について	承認 承認
		報告	学校給食会計の公会計化について 第73回県民体育大会について 公開授業の日程について 町立図書館の利活用について	
令和2年7月30日(木)	第7回定例会	議案	区域外就学について 指定校変更の申立てについて 令和3年度使用小中学校教科用図書の採択について 日出町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について	承認 承認 承認 承認
		報告	学力向上会議について 大分県学力定着度調査について 初任者提案授業の日程について 令和元年度給食会計決算報告について コロナ禍における町立図書館の運営緩和について 学校訪問の日程について	
令和2年8月17日(月)	臨時会	議案	日出町教育委員会委員の辞職の同意について	承認
令和2年8月28日(金)	第8回定例会	議案	令和2年度補正予算(専決第3号)について	承認
		報告	2020ひじ産業文化まつりにについて	

会議開催日	種 類	議事・報告内容		結 果
令和2年9月29日（火）	第9回定例会	議案	区域外就学について 指定校変更の申し立てについて 令和2年度補正予算（第2号）について 日出町立幼稚園管理規則の一部改正について	承認 承認 承認 承認
		報告	令和2年度大分県学力定着状況調査の結果について 令和2年度初任者研修に係る提案授業の日程について（変更） 第37回生涯スポーツフェスタについて 令和2年度「おおいた教育の日」推進大会について 令和2年度地区公民館ふるさと祭りについて	
令和2年10月28日（水）	第10回定例会	議案	区域外就学について	承認
		報告	令和元年度教育関係予算決算報告について 南端小学校及び中学校の閉校式典について 令和2年成人式について 国東半島一周駅伝大会について 県内一周駅伝大会について スポーツ少年団指導者研修会について	
令和2年11月26日（木）	第11回定例会	議案	区域外就学について 指定校の変更申立てについて 日出町学校給食費等に関する条例の制定について 日出町学校給食センター設置条例の一部改正について 非常勤職員の取扱いに関する規定を廃止する訓令について 日出町教育委員会会計年度任用職員の任用等に関する規則について 日出町教育委員会公告式規則の一部改正について 日出町教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則について 日出町立小学校及び中学校の就学に関する規則の一部改正について 令和元年度教育に関する事務の管理及び執行の状況について	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認
		報告	新年祝賀互礼会について 新春健康マラソン大会について	
令和2年12月24日（木）	第12回定例会	議案	区域外就学について 指定校変更の申し立てについて 令和2年度一般会計補正予算（第4号）について 日出町学校給食センター運営委員会規則を廃止する規則について 日出町学校給食センター管理規則の一部を改正する規則について	承認 承認 承認 承認 承認
		報告	成人式について 文化財防火訓練について 夢の教室について 町立図書館新年1月イベントの中止について 読書通帳について	

会議開催日	種 類	議事・報告内容		結 果
令和3年1月27日(水)	第1回定例会	議案	区域外就学の承認について 指定校変更の許可について 日出町就学援助認定要綱の一部改正について	承認 承認 承認
		報告	小中学校、幼稚園の卒業(園)式等の出席者割当について 学力向上会議への対応について 町立図書館の開館時間の変更等について 文化財防火訓練について	
令和3年2月25日(木)	第2回定例会	議案	区域外就学について 指定校の変更について 令和2年度一般会計補正予算案(第5号)について 令和3年度一般会計当初予算案について 幼稚園の設置及び管理に関する条例の一部改正について 日出町使用料条例の一部改正について 日出町立図書館運営規則の一部改正について	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認
		報告	令和元年度日出町標準学力調査について	
令和3年3月5日(金)	臨時会	議案	県費負担教職員の人事異動の内申について	承認
令和3年3月24日(水)	第3回定例会	議案	区域外就学について 日出町立幼稚園管理規則の一部改正について 日出町立学校職員の校務旅行における自家用車使用に関する取扱い要領の一部改正について 日出町就学援助認定要綱の一部改正について 押印を求める手続の見直し等のための関係教育委員会規則の整理に関する規則について 日出町立図書館管理規則の一部改正について 令和3年度日出町学校教育指導方針について 教育委員会事務局職員の人事異動内示について	承認 一部条文修正 承認 承認 承認 承認 承認 承認
		報告	令和3年度日出町教育委員会学校教育指導方針説明会について 学校給食運営協議会について 令和3年度各地区体育祭について	

6 令和2年度教育長・教育委員活動実績

活 動 日	活 動 実 績	活 動 場 所
令和2年4月1日(水)	辞令交付式 日出町転入者説明会 年度初め式	中央公民館 中央公民館 日出町役場
令和2年4月2日(木)	日出町学校教育指導方針説明会	中央公民館
令和2年4月10日(金)	町内中学校入学式	
令和2年4月13日(月)	町内小学校入学式	
令和2年4月14日(火)	町内幼稚園入園式	
令和2年4月24日(金)	大分県市町村教育長会議	大分市
令和2年5月1日(金)	日出町教育研究協議会運営委員会	中央公民館
令和2年5月15日(金)	管内教育行政連絡会	別府市
令和2年5月29日(金)	危機管理研修会	大分県庁
令和2年6月4日(木)	教科用図書採択協議会	国東市
令和2年6月4日(木)	議会定例会 ～22日	
令和2年6月29日(月)	教育事務所学校面談	中央公民館
令和2年7月2日(木)	教頭会	第2会議室
令和2年7月6日(月)	幼稚園主任会	第2会議室
令和2年7月8日(水)	学校マネジメント面談総括	中央公民館
令和2年7月8日(水)	日出町スポーツ少年団総会	中央公民館
令和2年7月9日(木)	文化財保護委員会	中央公民館
令和2年7月9日(木)	学校給食センター運営委員会	日出町役場
令和2年7月14日(火)	教科用図書採択協議会	国東市
令和2年7月15日(水)	人材育成研修会	中央公民館
令和2年8月3日(月)	初任者授業研修会	豊岡小
令和2年8月4日(火)	校長会	大神小
令和2年8月5日(水)	初任者授業研修会	日出小
令和2年8月6日(木)	教頭会	中央公民館
令和2年8月18日(火)	学力向上会議	川崎小
令和2年8月18日(火)	新春健康マラソン実行委員会	日出町役場
令和2年8月19日(水)	県体結団式	中央公民館
令和2年8月19日(水)	学力向上会議	日出小
令和2年8月20日(木)	大分県市町村教育長協議会総会	大分市
令和2年8月21日(金)	若手教職員研修会	中央公民館
令和2年8月25日(火)	初任者授業研修会	川崎小
令和2年8月25日(火)	学力向上会議	大神小

活 動 日	活 動 実 績	活 動 場 所
令和2年8月26日(水)	初任者授業研修会	川崎小
令和2年8月26日(水)	学力向上会議	藤原小
令和2年8月27日(木)	学力向上会議	日出小・豊岡小
令和2年8月28日(金)	学力向上会議	大神中
令和2年8月31日(月)	初任者授業研修会	豊岡小
令和2年9月2日(水)	日出町人材育成研修会	中央公民館
令和2年9月3日(木)	日出町体育協会理事会	中央公民館
令和2年9月4日(金)	教育委員会学校訪問	幼稚園
令和2年9月7日(月)	校長会	日出中
令和2年9月8日(火)	教頭会	中央公民館
令和2年9月14日(月)	日出町交通安全大会	日出町役場
令和2年9月17日(木)	議会定例会 ～10/13	
令和2年10月2日(金)	日出町新春健康マラソン第2回実行委員会	日出町役場
令和2年10月14日(水)	校長会	日出小
令和2年10月14日(水)	初任者授業研修会	日出小
令和2年10月15日(木)	教頭会	第2会議室
令和2年10月16日(金)	日出町教育研究協議会定例会	教育会館
令和2年10月19日(月)	初任者授業研修会	豊岡小
令和2年10月20日(火)	令和2年度第71回大分県公民館研究大会	大分市
令和2年10月20日(火)	初任者授業研修会	川崎小
令和2年10月21日(水)	初任者授業研修会	川崎小
令和2年10月22日(木)	初任者授業研修会	日出小
令和2年11月1日(日)	おおいた教育の日推進大会	津久見市
令和2年11月2日(月)	大分県市町村教育長会議	大分市
令和2年11月3日(火)	日出町功労者表彰式	日出町役場
令和2年11月4日(水)	人権教育啓発推進本部会議	日出町役場
令和2年11月11日(水)	文化庁協議	中央公民館
令和2年11月12日(木)	福祉文教常任委員会	日出町役場
令和2年11月13日(金)	別府管内教育行政連絡会第2回教育長会	別府市
令和2年11月21日(土)	南端小中学校閉校式	南端中
令和2年11月24日(火)	校長会	豊岡小
令和2年11月25日(水)	教育事務所学校訪問	大神小・大神中
令和2年11月27日(金)	初任者授業研修会	川崎小
令和2年11月30日(月)	教育事務所学校訪問	日出小・日出中
令和2年12月1日(火)	教頭会	中央公民館
令和2年12月2日(水)	教育事務所学校訪問	豊岡小・藤原小・川崎小

活 動 日	活 動 実 績	活 動 場 所
令和2年12月4日(金)	議会定例会 ～22日	
令和2年12月15日(火)	PTAとの意見交換会	中央公民館
令和2年12月23日(水)	管内事務職員冬季研修会	中央公民館
令和2年12月28日(月)	仕事納め式	日出町役場
令和3年1月4日(月)	仕事始め式	日出町役場
令和3年1月7日(木)	校長会	川崎小
令和3年1月9日(土)	日出町消防団特別点検	日出中
令和3年1月12日(火)	教頭会	中央公民館
令和3年1月23日(土)	文化財防火デー防火訓練	南畑 二柱神社
令和3年1月25日(月)	大分県市町村教育長会議	大分市
令和3年1月28日(木)	若手教職員授業研究会	日出中
令和3年2月5日(金)	いじめ問題対策連絡協議会	中央公民館
令和3年2月12日(金)	校長会	大神中
令和3年2月12日(金)	日出町教育研究協議会運営委員会	教育会館
令和3年2月15日(月)	教頭会	第2会議室
令和3年2月15日(月)	若手教職員授業研究会	日出小
令和3年2月16日(火)	学力向上会議	豊岡小・日出小・日出中
令和3年2月17日(水)	市町村教育委員会オンライン協議会	大分市
令和3年2月18日(木)	学力向上会議	藤原小・川崎小・大神中
令和3年2月19日(金)	町立幼稚園あり方検討委員会	中央公民館
令和3年2月19日(金)	学力向上会議	大神小
令和3年2月25日(木)	総合教育会議	日出町役場
令和3年2月26日(金)	学力向上推進会議	中央公民館
令和3年3月1日(月)	議会定例会 ～22日	
令和3年3月5日(金)	中学校卒業式	
令和3年3月13日(土)	管内教育長会	別府市
令和3年3月18日(木)	幼稚園卒園式	
令和3年3月23日(火)	小学校卒業式	
令和3年3月26日(金)	修了式	
令和3年3月30日(火)	臨時校長会	中央公民館
令和3年3月31日(水)	退職者辞令交付式	中央公民館

Ⅲ 施策の点検・評価

1 点検・評価の項目

項目 番号	基本目標	基本的施策	担当課	振興計画 該当頁
1	人権を尊重する社会づくり	①人権教育・啓発の推進	社会教育課	1
2	幼稚園教育の充実	①教育内容の充実	学校教育課	2
		②教職員の資質向上	学校教育課	2
		③施設・設備の充実	教育総務課	3
		④家庭・地域との連携	学校教育課	3
		⑤小学校との連携	学校教育課	4
		⑥預かり保育の充実	教育総務課	5
3	義務教育の充実	①確かな学力の育成	学校教育課	6
		②豊かな心の育成	学校教育課	9
		③健やかな体の育成	学校教育課	10
		④特別支援教育の充実	学校教育課	12
		⑤地域・家庭・学校との連携	学校教育課	13
		⑥学校給食の充実	給食センター	14
		⑦施設・設備の充実	教育総務課	16
4	社会教育の振興	①世代に応じた学習機会の提供	社会教育課	17
		②子どもの健全育成	社会教育課	17
		③公民館活動を通じた人・地域づくり	社会教育課	18
		④図書館活動・サービスの充実	図書館	19
		⑤子ども読書活動の充実	図書館	20
5	歴史・文化的資源の保存・活用	①歴史・文化的資源の調査・研究	文化・スポーツ振興課	21
		②歴史・文化的資源の保存・活用	文化・スポーツ振興課	22
		③歴史・文化的資源の愛護・啓発	文化・スポーツ振興課	23
6	芸術・文化・スポーツの振興	①自主的で創造性豊かな芸術文化の振興	文化・スポーツ振興課	24
		②芸術・文化の創造と鑑賞機会の充実	文化・スポーツ振興課	24
		③ライフステージ（世代）に応じたスポーツの推進	文化・スポーツ振興課	25
		④競技スポーツの推進	文化・スポーツ振興課	27
7	グローバル人材の育成	①グローバル人材の育成	学校教育課	29

2 点検・評価シートの記載方法

- 点検・評価については、第2期教育振興計画に定める基本目標である
 - ・人権を尊重する社会づくり
 - ・幼稚園教育の充実
 - ・義務教育の充実
 - ・社会教育の振興
 - ・歴史・文化的資源の保存・活用
 - ・芸術・文化・スポーツの振興
 - ・グローバル人材の育成以上の事務事業を点検・評価する。
- 「点検・評価」対象事業（基本施策）一つについて、1ページを原則とした。
- 「点検・評価」対象事業が複数課にまたがる場合は、「取りまとめの課」を記載した。
- 「点検・評価」対象事業ごとに、「基本施策」、「施策の目的、ねらい」、「令和2年度の取組実績、事業内容」「成果・課題及び目標」について事業の担当課が素案を作成し、教育委員の点検・評価を（内部評価）として記載した。
学識経験者からいただいた意見については、点検・評価第三者委員会（外部評価）の意見として記載した。

※評価基準ランク解説

5	妥当性・効率性・有効性に優れ、十分成果が上がっている。
4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。
3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。
2	成果が上がっておらず、抜本的改革が必要である。
1	成果が上がっておらず、要廃止検討の必要がある。

基本目標 「人権を尊重する社会づくり」

1. 基本的施策		
①人権教育・啓発の推進		
2. 施策の目的、ねらい		
全国的にいじめや暴力行為や虐待など、命に関わるような人権侵害問題が報告されている。人権問題の解決には教育が大きな役割を担っている。社会教育においては、学校・家庭・地域と連携しながら、人権を尊重する生活習慣や態度の育成によって、人権意識や人権感覚の向上および醸成を図る。学校教育においては、生涯学習の視点に立った人権教育・啓発のもと、人権意識や学習ニーズを的確に把握し、学習にあたり適正な段階を見極めた人権学習機会の充実に努める。		
3. 令和2年度の実績、事業内容等		
<p>●日出町人権教育啓発推進協議会を組織し、目的達成に必要な事業を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日出町人権講座を5回開催した（1回はコロナのため中止） ・差別をなくす人権講演会の開催（8月） ・日出町人権フェスティバルの開催（12月） 人権ポスター・人権標語・人権作文の募集 表彰式と講演会は中止。 障がい者アート等展示を中心に中央公民館と町立図書館の2か所で開催 ・校区別人権学習会は学校判断により中止した。 ・中央公民館内に人権コーナー（書籍やDVDの貸出） <p>●文部科学省委託事業「人権教育総合推進地域事業」を受託。「大神地区人権教育研究推進事業（あいプロジェクトinおおが）」実施。2年目の事業で、コロナ禍の中事業を進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区公民館長、社会教育委員、日出町公民大学聴講生対象の人権講演会（11月） ・日出総合高校教職員を対象とした人権研修会（2月） <p>●広報活動 町報ひじの人権コラム「こころのまど」を住民課と連携して掲載。 じんけん便り「じんけん」の発行。講座等は新聞掲載による広報。</p>		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中、各事業ともおおむね実施することができた。 ・講座やフェスティバル後に意識調査（アンケート）を実施。 ・大神地区人権教育研究推進事業は、協力校や他団体との交流や事業共催などにより、大きな成果を得た。 	
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・人権意識や人権感覚の更なる深化 ・人権講演会や人権講座の参加者数および参加者層の拡大 ・地域のリーダー・ファシリテーターの育成 	
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の人権意識向上のための取組強化 ・講演会や講座の充実 	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	3	令和2年度はコロナ禍のため、講演会や講座について人数制限を設けての実施を余儀なくされており、参加者数から評価判断できない。しかし逆に前年度とは異なった対象に異なったアプローチ（ぬり絵による啓発や教職員研修など）を行い、違う角度・観点からの意識付けを行った。

基本目標 「幼稚園教育の充実」

1. 基本的施策		
①教育内容の充実		
2. 施策の目的、ねらい		
幼稚園教育要領に沿った適切な教育課程を編成し、実施するとともに、地域との連携、地域資源の活用を図りながら、社会性を培う幼児教育の推進に努める。		
3. 令和2年度 of 取組実績、事業内容等		
全ての幼稚園で幼稚園教育要領に沿った適切な教育課程を編成・実施した。 コロナ禍ではあったが、できる範囲で地域資源の活用を図った。 幼稚園教育において育みたい資質能力の育成に努めた。		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	・ 幼稚園教育要領を踏まえた創意工夫に基づく教育活動の充実に努めた。	
課 題	・ 園内研修のさらなる充実、研修成果の環流を図る必要がある。	
目 標	・ 全ての公立幼稚園で園内研修を実施する。	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	4	全幼稚園で園内研修を実施した。「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を意識した協議ができた。 「アプローチカリキュラム」「スタートカリキュラム」についての協議も行った。

基本目標 「幼稚園教育の充実」

1. 基本的施策		
②教職員の資質向上		
2. 施策の目的、ねらい		
園内研修や園外研修、各種講座への積極的な参加を促進し、教職員の資質の向上に努める。		
3. 令和2年度の実績、事業内容等		
全園で「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を意識した園内研修会を実施した。町主催の中堅教諭等資質向上研修に対象以外の教諭も参加し研鑽を積んだ。		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	・全園で「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を意識した園内研修会が実施できた。	
課 題	・「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」に関してさらに理解を深めていく。 ・他園の保育参観を行い、自園の実践に生かしていく。	
目 標	・全ての町立幼稚園で毎年度園内研修を実施する。	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	4	全幼稚園で園内研修を実施した。 全幼稚園で、日出町幼稚園教員育成指標による教職員の資質能力について振り返りを実施した。

基本目標 「幼稚園教育の充実」

1. 基本的施策		
③施設・設備の充実		
2. 施策の目的、ねらい		
施設や遊具の点検・維持・補修を行うことにより、園児の安全・安心な生活環境を整備する。		
3. 令和2年度の実績、事業内容等		
<ul style="list-style-type: none"> ・遊具安全点検の実施 ・遊具修繕 ・施設老朽化対応 ・園庭除草・剪定作業 		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具安全点検の結果に基づき危険性の高い箇所の修繕等を行った。 ・施設の老朽化については随時対応している。 	
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具点検の都度、不良箇所の修繕を行っているが、老朽化の度合いが高いものについては更新を検討する必要がある。 	
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・園児にとって安全・安心な施設環境を整備していく。 ・長寿命化計画をもとに中長期的な改修を実施していく。 	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	4	遊具の安全点検とそれに伴う危険箇所の修繕等は年度内に実施できた。また施設、設備の修繕についても、随時発生する不具合に迅速に対応することができた。

基本目標 「幼稚園教育の充実」

1. 基本的施策		
④家庭・地域との連携		
2. 施策の目的、ねらい		
<p>「園だより」や連絡帳、ホームページ等を活用して子どもたちの様子を知らせることや、直接話し合うなど、保護者との連携を密にし、共通理解を図る。 地域に情報発信をするとともに、地域と積極的な交流を図る。</p>		
3. 令和2年度の実績、事業内容等		
<p>園だよりや連絡帳等を活用しコロナ禍で可能な情報発信を行った。 各園で工夫を凝らし、可能な範囲で地域の人との交流を行った。</p>		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	・園だよりや通信等を活用しコロナ禍で可能な情報発信を行った。また、人数や場所を制限するなどし、地域や家庭との交流が実施できた。	
課 題	・コロナ禍での自然体験や体験活動の工夫と実践の在り方。	
目 標	・全町立幼稚園で園公開を実施する。	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	4	本年度は規模を縮小するなど工夫し、可能な範囲での公開、地域や小学校との交流ができた。

基本目標 「幼稚園教育の充実」

1. 基本的施策		
⑤小学校との連携		
2. 施策の目的、ねらい		
<p>小学校生活に適応できない「小1プロブレム」の発生率は、調査を開始した平成21年度から年々減少しつつあるものの、引き続き幼稚園教育と小学校教育の円滑な接続を図る必要がある。</p> <p>平成29年に改訂された幼稚園教育要領についても学習を深め、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を小学校と共有する必要がある。</p>		
3. 令和2年度 of 取組実績、事業内容等		
<p>全園で「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を意識した教育課程の編成と「アプローチカリキュラムの作成」ができています。</p> <p>町主催の幼保小連携協議会を実施し、小中の連携を図り、園児の情報を共有することができています。</p>		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修会で小学校のアプローチカリキュラムを確認し理解に努めた。 ・適宜ケース会議等も実施できた。 	
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・幼小それぞれで作成されている各カリキュラムに対する理解を深める。 ・コロナ禍で継続できる園・学校の交流の在り方を模索する。 	
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年の担任が、保育参観等に参加する学校の割合100% 	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	3	<p>コロナ禍において、多人数での研修はできなかったが、少人数でのケース会議等は実施した。</p>

基本目標 「幼稚園教育の充実」

1. 基本的施策		
⑥預かり保育の充実		
2. 施策の目的、ねらい		
核家族化などにより保護者の託児ニーズが増加していることから、子育てを支援するため預かり保育の充実を図る。		
3. 令和2年度の取組実績、事業内容等		
<p>利用者数</p> <p>常時預かり 延べ904人（前年比 8人増）</p> <p>臨時預かり 延べ 34人（前年比40人減）</p> <p>預かり保育指導員 12人（前年比 増減なし）</p>		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	共働き等の事情により長時間の保育を必要とする保護者のニーズに応えることができている。	
課 題	預かり保育希望者数は園によって偏りがあり、多い園での指導員の確保が難しくなっている。また幼保無償化が今後の保護者ニーズや利用者数にどのように影響してくるかを注視していく必要がある。	
目 標	園児の健全な発達を図り、保護者の子育てを支援する。	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	4	全園で預かり保育を継続実施して、希望者全員が利用できる体制を維持することができた。

基本目標 「義務教育の充実」

1. 基本的施策		
①確かな学力の育成		
2. 施策の目的、ねらい		
学習習慣の定着や低学力層の底上げのため、習熟度別指導、少人数指導や各校の実態に合わせた補充学習等を行い、授業における習熟の程度に応じた指導の充実を図る。		
3. 令和2年度の取組実績、事業内容等		
町内6校が、学校規模の実情に応じて算数・数學習熟度別少人数指導に取り組み、きめ細かな指導に努めた。		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	・日出町標準学力調査（12月実施）においては、算数・数学ともに、全国正答率を超えている。	
課 題	・活用問題の正答率に課題が見られる。学んだことを用いて、問題解決に取り組む授業を適宜取り入れる必要がある。	
目 標	・日出町標準学力調査 小学校：正答率60%未満の児童の割合が20%以下。中学校：正答率50%未満の生徒の割合が30%以下。	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	4	習熟度別少人数指導を取り入れた算数・数学においては、成果がみられる。

基本目標 「義務教育の充実」

1. 基本的施策		
②豊かな心の育成		
2. 施策の目的、ねらい		
「特別の教科 道徳」の時間を要として、学校の教育活動全体を通して豊かな人間性や公德心、社会性を育む道徳教育の充実に努める。		
3. 令和2年度 of 取組実績、事業内容等		
道徳教育推進教員を中心に年間指導計画を充実させ、「考え、議論する道徳」の時間となるよう工夫する。		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	・ 答えがひとつでない道徳的な課題を一人一人の児童生徒が、自分自身の問題と捉え、向き合う時間となるような工夫が各学校で行われた。	
課 題	・ 「考え、議論する道徳」の時間となるための体験活動の充実、家庭や地域との連携などに取り組んでいく必要がある。	
目 標	・ 年間指導計画、体験活動等を充実させ、多様な価値に向き合い、考え続ける基本的資質を育む。	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	4	町内全校で年間指導計画の充実、授業における発問等の工夫が行われた。

基本目標 「義務教育の充実」

1. 基本的施策		
③健やかな体の育成		
2. 施策の目的、ねらい		
<p>これまでの体力・運動能力調査では、町内の小・中学校の平均値が項目によって、大分県の平均値を下回っていることがあった。各校で、児童生徒の実態に合わせた目標を設定し、体力向上に向けた独自のメニューを作成する1校1実践の取組を進める。</p>		
3. 令和2年度の実績、事業内容等		
<p>運動の愛好度を高めるための体育授業の展開を工夫する。 各学校の課題や児童生徒の実態に合った1校1実践に取り組む。</p>		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	・コロナ禍での制限はあったが、「めあて」や「振り返り」を設定し、運動量を確保するとともに、運動の愛好度を高めるための内容を工夫した1校1実践に取り組んだ。	
課 題	・令和2年度体力・運動能力調査は中止であったが、可能な範囲で、各学校の課題や児童生徒の実態把握に努める必要がある。	
目 標	<p>・低体力層の割合（県調査） 小学生：男子17%未満、女子15%未満 中学生：男子20%未満、女子15%未満</p>	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	4	<p>コロナ禍のため、令和2年度の体力・運動能力調査は、中止であった。小学校5年生、中学2年生対象の大分県学力定着状況調査の総合質問紙調査回答結果では、5割近い生徒が、学校の授業以外でも「だいたい毎日」運動していると回答している。（全国・県を上回る。）</p>

基本目標 「義務教育の充実」

1. 基本的施策		
④特別支援教育の充実		
2. 施策の目的、ねらい		
各校の特別支援学級に在籍する児童生徒に対し、「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」を作成し、児童生徒一人一人の障がいの状況・特性等を考慮したきめ細かな指導を行う。また、通常学級に在籍する支援が必要な児童生徒についても、「個別の指導計画」を作成する。		
3. 令和2年度の実績、事業内容等		
特別支援学級に在籍する児童生徒の「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」を全小・中学校で作成した。 通常学級に在籍する支援が必要な児童生徒の「個別の指導計画」を全小・中学校で作成した。		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	・全小・中学校で「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」を作成できた。	
課 題	・計画を基に、日々の授業や教育課程改善のサイクルを回し、よりよい教育的支援につながるよう、活用を図る必要がある。	
目 標	・特別支援学級に在籍する児童生徒の「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」を作成する。 ・通常学級に在籍する支援が必要な児童生徒の「個別の指導計画」を作成する。	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	5	全小・中学校で、該当する全ての児童生徒の「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」の作成を行った。

基本目標 「義務教育の充実」

1. 基本的施策		
⑤地域・家庭・学校との連携		
2. 施策の目的、ねらい		
地域・家庭との連携を図るため、学校運営協議会を充実させ、保護者や地域住民とともに、子どもたちの豊かな成長を支える取組を進める。		
3. 令和2年度の実績、事業内容等		
コロナウイルス感染症のため、実施回数を減らした学校もあったが、全小・中学校で学校運営協議会を開催し、地域・家庭との連携を図ることができた。		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	・全小・中学校で学校運営協議会を開催し、地域・家庭との連携を図ることができた。	
課 題	・活発な議論により、多くの人の意見を反映していく必要がある。	
目 標	・全小・中学校で学校運営協議会の活動内容について、学校だより等でお知らせをする。	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	4	全小・中学校で学校運営協議会の活動内容について、「学校だより」や「学校運営協議会だより」等で情報発信を行った。

基本目標 「義務教育の充実」

1. 基本的施策		
⑥学校給食の充実		
2. 施策の目的、ねらい		
<p>○学校給食法に基づき、給食が児童生徒の心身の健全な発達に資するもの、かつ、食に関する正しい理解と適切な判断力を養う役割を果たすため、学校給食を活用した食に関する指導をはじめとする食育の推進を図る。</p> <p>○学校給食衛生管理基準に則り、学校給食センターの施設・設備の日頃からの衛生管理と調理の過程における衛生管理体制の充実を図る。</p>		
3. 令和2年度の実績、事業内容等		
<p>○学校給食を教材とした授業や特別活動に引き続き取り組み、内容の充実を図った（計75回）。新たな試みとして、肥満児保護者と面談し、食指導を行った。</p> <p>○新センター建設事業では、建築・設備・電気・厨房機器会社と詳細な協議を何度も行い、より安全で衛生管理基準に則った使いやすいセンター建設に努力した。</p> <p>○令和3年度給食費の公会計化に向け、条例の制定、システム構築等に取り組んだ。</p>		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	<p>○新センター建設では、厳しい予算の中では、一部要望が叶わなかった部分もあった。</p> <p>○給食費の公会計化が、令和3年度実施可能となった。</p>	
課 題	<p>○令和3年度夏休みまでは現センターで調理することになるが、機械・設備等が持ちこたえられるか、不安を抱えている。</p> <p>○食材費の価格高騰は依然続いており、給食費の値上げは免れない。</p>	
目 標	<p>○新センターでは、厨房機器等を一新することから、新メニューの開発をする。</p> <p>○給食費値上げを令和4年度実施に向け、調査・研究をし、値上げ額を決定する。</p>	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	4	<p>○新センター建設も度重なる協議の上、完成間近になった。</p> <p>○給食費の公会計化については、学校給食センターが主となって制度化した。</p>

基本目標 「義務教育の充実」

1. 基本的施策		
⑦施設・設備の充実		
2. 施策の目的、ねらい		
<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の安全を確保し、安心して学べる環境を整備する。 ・教育環境の充実を図る為、小学校に空調の整備を実施することにより、生徒が快適な環境で集中して学習できるように、教育環境の質的な向上を図る。 ・老朽化した施設の維持、補修を計画的に実施していく。 		
3. 令和2年度の実績、事業内容等		
<ul style="list-style-type: none"> ・豊岡小 教室床修繕工事 ・藤原小 体育館照明LED化工事、相談室修繕工事 ・大神中 擁壁補修工事、相談室エアコン設置工事 ・日出中 体育館内バスケットゴール修繕・防鳥ネット設置工事、多目的教室床修繕 ・インターホン設置工事 藤原小、川崎小 		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の修繕は、現場に応じ実施することができた。 ・職員室と教室の緊急時対応に備えインターホンを設置した。 	
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は前年度策定した長寿命化計画を元に計画的な改修を予定していくが、学校施設の老朽化対策には多大な費用がかかるため財政面を考慮しながら進めていく必要がある。 	
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・児童、生徒の良好な学習環境を整備していく。 ・長寿命化計画をもとに中長期的な改修を実施していく。 	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	4	学校施設の老朽化にともなう不具合については年間計画に基づき対応し、突発的な修繕には適宜対応できた。

基本目標 「社会教育の振興」

1. 基本的施策		
①世代に応じた学習機会の提供		
2. 施策の目的、ねらい		
生涯にわたる学習機会の確保のために、町民のニーズに合わせた講座や教室を計画的に開催し、幅広い層が気軽に参加できるような場の提供や情報提供に努める。		
3. 令和2年度の取組実績、事業内容等		
<p>●日出中央公民館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民大学（年6回開催）についてはコロナのため開催を中止した。 ・公民館主催教室 4教室（オカリナ教室、英会話教室など）を開催 ・公民館自主教室 34教室 <p>●各地区公民館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育講座（各地区年2回を全5地区開催）はコロナのため2回（大神・藤原）の開催のみ（食育・自己肯定感）実施した。 ・高年者学級（各地区年2回を全6地区開催）はコロナのため中止した。 ・自主教室は、コロナ対策（密対策・消毒・清掃）の徹底を条件に実施可とした。 		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	初心者を対象にした新しい教室や内容の充実に取り組んだことで、新規教室の開催と教室生の増加につなげた。	
課 題	教室生がやや高齢層となっている。また学びの内容がアウトプットできる環境ができていない。	
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・教室生の増加と幅広い年齢層の参加 ・学習意欲についてのニーズの把握・分析 ・学びをアウトプットできる環境の充実化 	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	3	夜間開催の教室を増やして参加者の増加は図れたが、昼間開催の教室については従来から開催している教室がほとんどである。今後は情報発信の方法を模索しながら、公民館活用者や活用団体の増加を図っていきたい。

基本目標 「社会教育の振興」

1. 基本的施策		
②子どもの健全育成		
2. 施策の目的、ねらい		
核家族化や地域コミュニティの希薄化等、青少年を取り巻く環境が急速に変化している。青少年が明るく育つ環境をつくるため、家庭・学校・地域との連携を図るとともに、自治会を基盤とする単位子ども会活動の活性化につながる各種事業を計画・実施する。		
3. 令和2年度の実績、事業内容等		
町子連行事、地区子ども会育成会行事とも、コロナの影響で予定行事はほとんど中止となったが、各地区の放課後子ども教室や、子どもマラソン大会（豊岡）、ノルディック・ウォーク体験（川崎）、プログラミング教室・水引づくり・スクラップブック作り教室（大神）など、コロナ対策を十分とったうえで開催した。 <ul style="list-style-type: none"> ・子ども会スポーツ大会（ミニバレーボール）・・・中止 ・児童文化祭（芸能発表・作品展示・かべ新聞）・・・中止 ・子ども会対抗綱引き大会・・・中止 ・夏休み子ども教室（中央公民館）・・・中止 ・ジュニアリーダー研修会・・・中止 		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	コロナによって例年の活動はできないことが多かったが、その中でも工夫して新規事業を行い、行事の見直しにつなげることができた。	
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・行政主導の取組が主になっている点 ・そのため行事のマンネリ化がうかがえる点 ・各自治区育成会活動が見えていない点 	
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域主体の青少年健全育成を目指した環境づくり ・学校や他団体との連携や交流などを大事にした体験機会の提供 ・地域の各種会議等の充実（連絡事項伝達より役員同士の連携重視） 	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	3	町子連や子ども会育成会は活動に対し、常に前向きに可能性を探り協議した。各地区育成会役員会でも例年以上に案を出し合い協議した。各自治区育成会ごとでも小さな活動（ラジオ体操や季節イベントなど）の実施を試みている。結果的にはコロナのため活動は大きく制限され、充実した活動はできていないが、次年度以降は活動のできる環境になることを望む。

基本目標 「社会教育の振興」

1. 基本的施策		
③公民館活動を通じた人・地域づくり		
2. 施策の目的、ねらい		
自治公民館・単位子ども会など、地域コミュニティにおいて自主的な活動を行っている組織の役員やリーダーを対象とした各種研修会を実施し、それぞれの地域の指導者やリーダーとして必要な資質向上を求め、地域の社会教育力の向上を図る。		
3. 令和2年度の取組実績、事業内容等		
<ul style="list-style-type: none"> ・自治公民館長及び主事等研修会（年3回実施）はコロナのため中止 ・大分県公民館連合会主催の県公民館大会が日出町にて開催（10月）。大会では、豊岡地区館が実践発表を行った。また大神地区公民館と八日市自治公民館が優良公民館表彰。 ・子ども会指導者研修会・・・中止 ・子ども会リーダー研修会・・・規模縮小の上実施した 		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	自治公民館連絡協議会や子ども会育成会連絡協議会と連携して、各種研修会を開催、参加して、地域における指導者としての育成を図った。	
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・行政主導の傾向 ・イベントのマンネリ化によるモチベーションの低下 ・役員が単年で交代するためリーダー育成が難しい 	
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民のモチベーション向上につながる仕掛けづくり ・地域のニーズを的確に判断し、実情に合った研修会や学習会や連絡会議の開催 ・地域課題に対し多角的に取り組む地域リーダー育成と地域力の向上 	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	3	コロナのために研修会開催や連絡会の開催自体も難しい中、単年で交代する役職が多いため資質向上は困難だったと考える。公民館大会はこの状況の中、県内から多くの関係者が来られ、成功を収めた。

基本目標 「社会教育の振興」

1. 基本的施策		
④図書館活動・サービスの充実		
2. 施策の目的、ねらい		
<p>図書館は、単に本を貸し出すだけではなく、日出町の人財育成に欠かせない役割を担う場所であり、町立図書館は、従来の図書館のイメージにとらわれない、コミュニティーセンター的な役割を持たせ、「子どもから大人まで全ての町民が集い、学び、交流する」文教の町「ひじ」にふさわしい「交流と学びの拠点」を基本理念とし、町民のニーズを取り入れながら、町民とともに育つ、新しい情報発信の拠点となるような図書館運営を目指す。</p>		
3. 令和2年度の取組実績、事業内容等		
<p>1) 利用者の生涯学習を支える資料の収集と提供 地域課題に対応した資料の収集に努め、地域の情報拠点としての役割を果たす。</p> <p>2) 郷土資料の収集保存と提供 日出町に関する資料及び出版物の収集保存を行う。</p> <p>3) 広報活動の充実 町報、ホームページ、図書館だより、SNS等を通じて、行事や新着図書等を周知する。</p>		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	町民ニーズを取り入れながらの資料収集ができ、広報を通じて、行事や新着図書等の周知ができた。	
課 題	全ての町民が集い、学び、交流する「交流と学びの拠点」を目指す。未来館者を、いかにして図書館に呼び込むか。	
目 標	新たな情報発信の拠点となるような図書館を目指す。	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	4	町民ニーズを取り入れながらの、本の展示・収集ができ、広報・SNS等を通じて、行事や新着図書等の周知ができた。

基本目標 「社会教育の振興」

1. 基本的施策		
⑤子ども読書活動の充実		
2. 施策の目的、ねらい		
<p>今の子どもたちは、周囲にテレビやゲームなど楽しい物がたくさん溢れ、また塾やスポーツクラブなどに通っていたりと、とても忙しい日々を送っていて、図書館 でゆっくり本を読むようなゆとりはない。しかし、次世代を担う子どもたちの教育には、読解力や創造力、思考力、表現力など生きていく上には必要不可欠であり、それらのことを学ぶには、読書はなくてはならないものである。そのためには、その子どもたちにあらゆる場所であらゆる機会に、読書のできる環境をつくり整備する必要があると考える。</p>		
3. 令和2年度 of 取組実績、事業内容等		
<p>毎月第2土曜日には、乳幼児から幼稚園児を対象としたブーフーウーによる「読み聞かせ」 毎月第4土曜日には、乳幼児を対象としたFUMFUM（ふむふむ）による「読み聞かせ」 9月から2月まで町内各幼稚園へブーフーウーによる「読み聞かせ」 毎月最終木曜日には、4ヶ月児対象の「ブックスタート」 毎月第3金曜日には、手づくり絵本の会による「布絵本つくり」 夏休み期間には、町内小中学校生を対象にした「読書感想文・感想画コンクール」</p>		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	定着した行事として一定の成果をあげている。	
課 題	魅力ある行事の実施と参加者へのPR、参加者の増加	
目 標	新しい行事計画の実施及び広報活動を充実させることによる参加者の拡大	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	4	乳幼児から小学生の読者の増大とともに乳幼児の保護者層が増大した。

基本目標 「歴史・文化的資源の保存・活用」

1. 基本的施策		
①歴史・文化的資源の調査・研究		
2. 施策の目的、ねらい		
<p>日出町には、特色ある歴史・文化が育まれ、これを物語る文化遺産が各地区に数多く所在しています。文化遺産の収集・調査・研究を通じ、郷土の歴史・文化、先哲を象徴する文化財として保護価値を定め、次の世代に守り伝えていきます。</p>		
3. 令和2年度の実績、事業内容等		
<p>「佐藤家住宅離れ」について、これまでの調査成果に基づき、国登録有形文化財へ正式登録することができました。また、給食センター建設に伴う「友田遺跡」発掘調査の報告書作成業務に取り組みました。「日出藩御茶屋襟江亭」の報告書作成業務及び「日出藩主日記」の文化財指定調査については、新型コロナウイルス感染拡大に伴い調査員・講師（関西・関東方面）を招聘できず、事業実施を見送りました。日出町の歴史性を象徴する文化財の抽出調査については、継続して取り組んでいます。</p>		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	日出町の歴史性を象徴する文化財を、新たに指定保護を図ることができました。	
課 題	文化財を適切に保存し、積極的な活用を図るためには、調査と評価が極めて重要であり、数ヶ年の事業期間、職員の専門スキルの向上が強く求められます。	
目 標	日出町の歴史性を象徴する文化財を中・長期的に調査し、日出町・日出町民の誇りや魅力を育む歴史・地域資源としての文化財保護（保存・活用）を目指します。	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	3	友田遺跡発掘調査の報告書作成・刊行を通じ、埋蔵文化財の保護に取り組むことができました。見送りとなった各種調査事業については、次年度での早期実施及び完結を目指します。

基本目標 「歴史・文化的資源の保存・活用」

1. 基本的施策		
②歴史・文化的資源の保存・活用		
2. 施策の目的、ねらい		
<p>幾つもの時代を経て今日に受け継がれてきた文化財は、その価値を損なうことなく、次の世代へ保存継承を図ることが強く求められます。また、文化財は日出町・日出町民の誇りや魅力、活力を育む「唯一無二」の地域資源であるため、教育、観光などの諸分野と連携し、文化財の公開活用、郷土の歴史・文化、先哲の顕彰など普及啓発に取り組みます。</p>		
3. 令和2年度 of 取組実績、事業内容等		
<p>初代木下延俊・11代木下俊懋の『日出藩主日記』をテーマとする歴史講演会を計画していましたが、新型コロナウイルス感染拡大により講師（関西・関東方面）を招聘できず、事業実施を見送りました。歴史資料館では、コロナ禍の対策を執りながら特集展「疫病・病魔-先人達の闘い-」を開催し、日出町HP上にて歴史コラムを定期掲載し啓発を行いました。また、文化財体験講座「ひじはく-古銭（寛永通宝）製作-」、歴史講座「致道館塾9期生課程」を開催した他、日出小学校児童民具体験授業など、各種依頼に応じた学芸員スタッフの派遣業務にも取り組みました。</p>		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	<p>対外事業は次年度に見送りとなりましたが、調査、研究、試作を積み重ねによる成果に基づき、普及啓発を基軸とする最低限の事業実施ができたと考えています。</p>	
課 題	<p>日出町の特色ある歴史性を抽出し得る調査及び普及啓発を、継続かつ安定して企画・運営が可能となる体制構築（スキル、スタッフ数）が強く求められます。</p>	
目 標	<p>日出町の特色ある歴史性が、様々な分野や形態にて多様に活かされる事業の構築を目指します。</p>	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	3	<p>調査・研究や試作を積み重ねた成果に基づき、普及啓発を主軸に最低限の事業に取り組むことができたと考えています。見送りとなった各種事業については、次年度での実施を目指したいと考えています。</p>

基本目標 「歴史・文化的資源の保存・活用」

1. 基本的施策		
③歴史・文化的資源の愛護・啓発		
2. 施策の目的、ねらい		
<p>日出町の歴史に根差して受け継がれてきた伝統芸能（民俗文化財）は、時代や社会の急速な変化により継承者が減少し、保存継承活動の停滞・消失の危機に直面しています。日出町に受け継がれてきた地域伝統芸能の象徴として位置付け、地域や諸分野と連携して継承者の育成及び育成支援に取り組めます。</p>		
3. 令和2年度の実績、事業内容等		
<p>新型コロナウイルス感染拡大により、辻間楽・津嶋神楽ともに定期的練習ができず、八津島神社大祭その他神社大祭の縮小開催やイベント自粛等により、例年にみる公開活動ができなかった。辻間楽については、豊岡小学校にて児童対象の体験学習を実施した。</p>		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	辻間楽・津嶋神楽ともに最小限の継承者数、また、コロナ禍の情勢の下、保存継承活動を維持することができました。	
課 題	辻間楽・津嶋神楽ともに成人層の継承者不足が深刻な課題であり、特に辻間楽については児童主体の継承が常態化しており、成人継承者の確保・育成が急務です。	
目 標	辻間楽・津嶋神楽を日出町の地域伝統芸能の象徴と位置づけ、その保存継承に向けた成人層の継承者の確保・育成を目指します。	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	2	津嶋神楽・辻間楽ともに、成人継承者の人材確保・育成が停滞し、辻間楽については依然として児童主体の保存継承の現状にあります。辻間楽・津嶋神楽の歴史・文化財価値、保存継承の意義を再検討し、活動の拡充・再構築を図る必要があります。

基本目標 「芸術・文化・スポーツの振興」

1. 基本的施策		
①自主的で創造性豊かな芸術文化の振興		
2. 施策の目的、ねらい		
日出町文化協会加入団体による舞台発表・作品展示の場を通して文化活動の魅力を発信し、文化面からの地域振興を図る。また、それにより各分野への新規参入者を増やすことで、町内の文化団体の多くが抱えている会員の高齢化や減少、指導者不足といった諸問題の解決を目指す。		
3. 令和2年度の取組実績、事業内容等		
新型コロナウイルスの影響により、産業文化まつりを始めとする舞台発表・作品展示の場がほとんど中止となった。大勢の人の目に触れる形での活動が制限されたため、新規参入者も見込めず、文化協会としても個々の団体としても運営が苦しい一年となった。		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	対外的な活動が何も実施できず、目に見えた成果は挙げられなかった	
課 題	会員の高齢化及び減少により活動が困難な団体が増えていること。大規模イベントの実施が制限されると、文化協会としての活動が何もできないこと。	
目 標	より自主的な活動や運営ができるよう、支援体制の強化に努める。大規模イベントの実施が制限された際の新たな取り組みについても模索する。	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	3	新型コロナウイルス感染症の影響により各種イベントが中止となったが文化協会と連携して可能な限り文化振興に向けた取り組みを検討していた。

基本目標 「芸術・文化・スポーツの振興」

1. 基本的施策		
②芸術・文化の創造と鑑賞機会の充実		
2. 施策の目的、ねらい		
産業文化まつり及び芸術文化鑑賞イベントを通じ、文化活動に携わる住民が切磋琢磨しながら作品の創造性を深められる環境の醸成を図る。また、質の高い文化活動に直に触れられる機会を設けることで、個々人の文化的意識を高め、新たな興味・関心への後押しとする。		
3. 令和2年度 of 取組実績、事業内容等		
新型コロナウイルスの影響により大規模イベントが全て中止となり、例年のような交流の場や、外部ゲストによる質の高い文化活動を鑑賞する機会を設けることができなかった。		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	対外的な活動が何も実施できず、目に見えた成果は挙げられなかった。	
課 題	今後、例年通りイベントが開催できる場合は、参加者を増やすことが課題。しばらく開催が見込めない場合は、代替事業案の早期捻出が求められている。	
目 標	住民の文化に対する理解や関心を深め、活動への参加を促していくために、広報活動に力を入れる。デジタル機器を用いたイベント代替案等について模索する。	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	3	新型コロナウイルス感染症の影響により各種イベントが中止となったが文化協会と連携して可能な限り文化振興に向けた取り組みを検討していた。

基本目標 「芸術・文化・スポーツの振興」

1. 基本的施策		
③ライフステージ（世代）に応じたスポーツの推進		
2. 施策の目的、ねらい		
子どもから高齢者まで一人でも多くの方が、地域の日常生活の中で自然にスポーツに親しむことが大切であり、①体力低下が懸念される子どもや若者、②スポーツ実施率が最も低いビジネスパーソン、③スポーツによる健康・体力の保持が期待される高齢者など、対象者ごとに課題と対策を明確にして、町民がいつでもどこでもスポーツに親しむことができる環境づくりに努め、町全体のスポーツ実施率の向上を目指す。		
3. 令和2年度の実績、事業内容等		
新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により活動自粛を余儀なくされ、各種スポーツ行事が中止となった。総合型地域スポーツクラブ（以下、総合型クラブ）では、各種教室の参加申込みが少なく開講できなかったものもあり、17教室、のべ215名、実人数209名の参加となった（昨年度：のべ290名、実人数275名）。登録・認証制度など今後の動向を見据え、総合型クラブの質的充実、スポーツ推進委員の資質向上を図った。総合型クラブとスポーツ推進委員が連携し、ポストコロナの活動も意識しながら、自治公民館など身近な場所で行うスポーツ教室を新たに実施した。		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	体育協会、スポーツ少年団、総合型クラブ、スポーツ推進委員、地区公民館等、各地域スポーツ関係団体等の役割・関係性が見えたことで、今後、効果的な施策につなげることができる。	
課 題	各地域スポーツ関係団体の関係性が薄く、相乗効果を得られていない。各団体の役割等を明確に示すことで、団体関係者の意識の向上を図り、相互の関係性を再構築していく必要がある。	
目 標	総合型クラブのあり方を抜本的に見直し、主催教室中心のクラブでなく、地域の関係団体と連携して、地域に根ざし地域の多くの人に関わり支えるクラブとなるよう運営の見直しを図る。	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	3	新型コロナウイルス感染症の影響によりスポーツイベントが中止となったがスポーツ関係団体と連携して可能な限りスポーツ振興に向けた取り組みを行った。

基本目標 「芸術・文化・スポーツの振興」

1. 基本的施策		
④競技スポーツの推進		
2. 施策の目的、ねらい		
<p>体育協会加盟の競技団体並びに生涯スポーツ団体の組織強化を図るとともに連携を密にし、スポーツに関する知識の習得の機会を設けることなどにより指導者を養成し、競技人口の拡大や選手強化並びに競技力向上を目指す。</p>		
3. 令和2年度の実績、事業内容等		
<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、県民体育大会の選手選考を兼ねた日出町選手権大会を中止。選手選考については、競技団体独自の選考会や前年実績等をもとに行った。県民体育大会も新型コロナウイルス感染症の影響で8月に中止が決定された（冬季競技会も同様理由で中止）。町事業では全体として目立った取組実績はなかったが、各競技団体では、卓球やバドミントンなどのジュニア部門で全国大会出場等の活躍があり、町長への報告会や出場補助金の支給を行った。</p>		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	参加種目減少や総合順位固定化が課題だった県民体育大会において、次年度より「ふるさと制度」等の新制度が追加された。今後の取組み次第では、選手層の充実、参加種目拡大が期待できる。	
課 題	体育協会には、県体出場選手中心の団体となっており、同じ種目のスポーツ少年団等とつながっていない加盟団体も多い。各種目の町内唯一の団体として、競技人口の拡大、ジュニアの育成等の意識を高める必要がある。	
目 標	研修会や会議等を通じて、団体関係者の意識の向上を図り、相互の関係性を深め、ジュニアや指導者の育成など、10年先を見据えた活動を各団体が主体的に取り組める環境づくりを進める。	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	3	<p>新型コロナウイルス感染症の影響によりスポーツイベントが中止となる中で、競技部ごとに各種大会に出場してジュニア部門では全国大会出場等の成績を収めることができた。</p>

基本目標 「グローバル人材の育成」

1. 基本的施策		
①グローバル人材の育成		
2. 施策の目的、ねらい		
英語専科教員や外国語指導助手（ＡＬＴ）等を活用し、児童生徒の授業や研修を通して小学校教員の英語指導力の向上を図るとともに、児童生徒が外国の言語や文化に接することのできる環境を構築する。		
3. 令和２年度の実績、事業内容等		
年度当初は小学校に２名、中学校に１名のＡＬＴを配置し、町内全小・中学校で外国語指導を行った。 前期後半より、小学校１名、中学校１名の体制となったが、町内全小・中学校でＡＬＴによる外国語指導を行うことができた。		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	・町内の全小・中学校でＡＬＴによる外国語指導を行うことができた。	
課 題	・コロナウイルス感染症のため、令和２年度に配置する予定だったＡＬＴ（新規２名）の配置ができていない。早期の配置に向け、コロナウイルスの感染状況等を確認しながら、関係機関と連絡・調整を図っていく。	
目 標	・英語教育の充実に向けてＡＬＴの増員を図り、児童生徒のコミュニケーションへの意欲や学習に対する意欲の向上を図る。	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	4	町内全小・中学校でＡＬＴによる外国語指導ができている。 約９９％の児童が「ＡＬＴとの授業はとても楽しい」と答えている。

IV 点検・評価第三者委員会の意見

1 点検・評価第三者委員会委員の構成

学識経験者の選定にあたっては、日出町ゆかりの方を前提とし、色々な分野で見識の高い方の知見の活用を考慮した。

氏 名	選出区分	任 期
かわの けんじ 河野 健二	学識経験者	令和3年9月1日～令和5年3月31日
さとう くみこ 佐藤 久美子	学識経験者	令和3年9月1日～令和5年3月31日
いむら もとこ 井村 元子	学識経験者	令和3年9月1日～令和5年3月31日

2 点検・評価第三者委員会会議の状況

○ 第1回日出町教育委員会点検・評価第三者委員会

日時 令和3年10月27日（木）午前10時00分～

場所 日出町中央公民館 2階 第2会議室

議事 1 「点検・評価」対象事業の概要説明

2 点検・評価報告書の作成スケジュールについて

○ 第2回日出町教育委員会点検・評価第三者委員会

日時 令和3年11月17日（水）午前10時00分～

場所 日出町中央公民館 2階 第2会議室

議事 1 内部評価に対する点検・評価第三者委員会意見について

2 点検・評価報告書の作成スケジュールについて

3 令和2年度事業 点検・評価第三者委員会の意見（総評）

（1）全体意見

- ・コロナ禍において、各取り組みが十分に開催できなかったことは仕方ない。そのような中、できることを検討し取り組んだことに関しては評価する。今後の活動については、更なる充実を検討してもらいたい。
- ・学校現場における各施設における老朽化対策は、子供に対する安心・安全が第一である。予算的に難しいことは理解するが、安全面に十分配慮を行い、大規模改修を考慮しつつ、計画的に対応をお願いしたい。
- ・新給食センターの完成と給食費の公会計化は十分に評価できる。今後は新センターにおいての様々な配食の充実・有効的な活用による残菜の削減等に期待するとともに、学校給食や施設を利用した、食の教育を充実させてもらいたい。
- ・園児の就園率が減少する中、幼小連携といった公立幼稚園での強みを十分に生かした園児教育を更に進めるなど、就園率の向上を検討してもらいたい。また、人とのつながりが大きく影響する年代であることから、地域との交流をさらに図ってもらいたい。

（2）各基本目標意見

1. 【人権を尊重する社会作り】

- ・社会の多様化が進む中、人権問題の幅も広がっている。多種多様な問題について、更なる啓発、周知活動を継続して取り組むことが重要だと思われる。
- ・新たな教育の場や活動を模索してもらうとともに、認知度などの集約や問題の発生状況の把握等、取り組みに対する評価が行えるようお願いしたい。

2. 【幼稚園教育の充実】

- ・幼稚園における現在の取り組みは、大変評価できるものである。
「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を目標とした教育課程の更なる充実や取り組みに期待したい。
- ・多様化する社会の中での園児教育は日々変化しているので、今後とも教職員の資質の向上に向けて努力してもらいたい。
- ・様々な社会環境における預かりのニーズは、受入れ時間等、高まっているので、幼稚園における預かりだけでなく、子育て環境の充実としての取り組みの検討が必要ではないか。
- ・預かり保育のニーズに対し、受け入れができていることは評価する。その中で就園率の減少に歯止めがかからない状況は、更なる対策の検討が必要であると思う。
- ・核家族化の増加や、地域でのコミュニケーション不足から子育てに対する不安をかかえる家庭は多いので、園を通じた子育てのサポート体制が図れればよいと思う。
- ・施設・設備整備に関しては、子供達の安全を第一で、計画的に取り組みの充実をお願いしたい。

<p>3. 【義務教育の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学力調査のもと、習熟度に応じた少人数指導等、実態に即した指導法の改善が行われていることは評価でき、また成果も出ているようである。 ・情報社会が進む中で、子供達のこころのあり方については、各種報道でもあるように、乱れたことが多いように思われる。そのような中、豊かな心の育成への個々の取り組みは、素晴らしいと思う。今後も継続した取り組みをお願いしたい。 ・からだの育成について、子供達のそれぞれ異なる成長具合を十分に配慮し、細やかな対応をお願いしたい。 ・教育における特別な配慮が必要となる子供達に対し、個別指導計画・教育支援計画を作成したことは評価できる。今後は、取り組みに対する評価を行う等、成果の充実をお願いしたい。 ・地域との連携については現在の取り組みを評価するので、今後とも継続・充実させていきたい。 ・施設・設備整備については、子供達の安全を第一に、取り組みの充実をお願いする。
<p>4. 【社会教育の振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での活動の縮減はやむを得ないと思う。 ・町民の働き方は多種多様となっているが、各種講座や学習会等への参加希望・開催希望の声も聞くことがある。開催時間など厳しい問題もあるが、町民ニーズを再検証し、あらたな参加の場の提供を検討してはどうか。 ・地域でのつながりが希薄化している中で、地域コミュニティの充実は難しい課題であるが、引き続き取り組みの強化をお願いしたい。 ・図書館における各種取り組みは評価する。来館層の低い年代に対して、来館率を高める取り組みや蔵書の充実に取り組んでもらいたい。
<p>5. 【歴史・文化的資源の保存・活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学芸員スタッフの派遣等の活動は評価できる。 ・日出町には各地に様々な文化遺産が存在しているので、その存在や価値を周知する活動をひろげてもらいたい。また文化遺産の保護や継承についての人材育成や取り組みを検討し、更なる活動強化をお願いしたい。
<p>6. 【芸術・文化・スポーツの振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において、各種活動が停滞してしまったことはやむを得ないと思う。現に活動していた方々への、モチベーション維持や、新たな活動の場の提供等、活動の充実を期待したい。 ・町民が、年齢や性別問わず参加できるスポーツイベントの開催、また参加率の向上に向けて、引き続き検討してもらいたい。 ・競技スポーツの推進に向けて、競技力を支える選手や指導者の人材の育成のために、指導者の招聘や財政的な援助など有効的な活動を検討してもらいたい。
<p>7. 【グローバル人材の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校における ALT の活用による就学機会の提供は、非常に評価できるものである。今後も ALT の活用について継続をお願いするとともに、外部機関とも連携し、活きた交流の場の増設について検討していただきたい。